

1	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
魅力ある蔵書と図書館内環境の整備 中央図書館	<p>新刊書を始め、読み継がれてきた絵本や物語、紙芝居、調べ学習の資料等、発達段階等に応じて収集し、魅力ある蔵書を提供します。</p> <p>また、図書の分類や配置を分かりやすく表示したり、館内の装飾を工夫するなど親しみのある館内環境を整備します。</p>	<p>子どもが多くの本と出会うよう蔵書を充実し、資料相談に応じます。</p> <p>様々な資料の紹介・提供を通じ、子どもがインターネット等を活用し、情報選択能力や情報リテラシーを身に付けられるようにします。</p> <p>また、図書館内の環境整備を推進し、子どもが一層使いやすく、親しまれる図書館を目指します。</p>	週に一度開催される選書会議等を利用して、区立図書館全館で子どもたちにとって魅力ある資料を収集した。
			読み継がれている資料や情報が古くなった資料の買替を積極的に行った。
			展示方法や装飾などを工夫し、魅力ある図書館内環境を目指した。
			評価
			各館それぞれの取り組みによって、探している資料が見つけやすくなるなど、利用者の利便性向上につながった。
			課題
			子どもたちが求める資料や、発達段階に応じた資料を手にとることができるよう、引き続き資料の分類や整理に取り組んでいく必要がある。
2	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
郷土・新宿を知る図書の充実 中央図書館	<p>新宿区ゆかりの作家や地域の歴史・文化を紹介する図書館資料を充実し、常設展示やテーマ展示等を行います。</p>	<p>地域資料を充実し、子どもたちに歴史や文化と未来に向けて更に発展していく郷土・新宿の魅力を伝えていきます。</p>	常設展示やテーマ展示、関連イベント等を活用し、新宿区ゆかりの作家や歴史、文化の発信を行った。
			評価
			子どもたちが地域の歴史や文化に親しみを持って触れる機会を設けることができた。
			課題
			配架場所等の都合により、児童・生徒の利用が少ない。展示やレファレンスを活用し、関心を持ってもらえるよう工夫をする必要がある。
3	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
図書展示の充実 中央図書館	<p>子どもたちと本の出会いの場として、季節に関連した本や幅広いテーマで図書を紹介します。</p>	<p>展示内容を工夫して本の紹介を行い、子どもたちの新たな発見や家庭での話題につながるようにします。</p>	季節や時事に関連した資料の展示を行った。
			また、図書館で開催したイベントに関連したブックトラックも活用した展示を行うことで、より多くの児童・生徒に興味を持ってもらえるよう工夫した。
			評価
			資料を集めて展示するだけでなく、内容に合わせてブックトラックを飾り付けるなど工夫を凝らすことで、利用者の目を引き、貸出数の増加に貢献させることができた。
			課題
			展示を行うことで、子どもたちが様々な資料と出会う機会を与えることができるため、ニーズの把握や時事への理解を深めていく必要がある。

4	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
東京オリンピック・パラリンピック開催の未来への継承 中央図書館	令和2年度（2020）に開催する東京オリンピック・パラリンピックの記録や資料を収集・展示し、大会開催の意義を子どもたちに伝えます。 また、参加する様々な国や民族の文化を紹介していきます。	大会終了後も資料収集や展示を行い、スポーツだけでなく、様々な国や民族の文化、障害への理解を深める機会とします。	大会終了後もオリンピック、パラリンピックで種目となった競技に加え、様々な国の民族や文化、障害に関連する図書を収集・展示した。
			評価 大会が終了したこともあり貸出数としては多くなかったが、引き続き様々な国の民族の文化、障害への理解を深める機会を提供したと評価する。
			課題 2024年のパリのオリンピック・パラリンピックを視野に入れ、国際文化や障害に目を向ける良いきっかけとするため、今後も関連する展示などを行うことで子どもたちに情報発信をしていく必要がある。
5	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子どもたちによるおすすめ本紹介コーナーの設置 中央図書館	子どもたちが好きな本を投書し、掲示する「おすすめ本紹介コーナー」を設置し、子ども同士の情報交換の場とします。	子どもたちが自分の好きな本を紹介し合い、様々な本と出会うことで、家庭読書のきっかけにつながります。	「おすすめ本紹介コーナー」には、メッセージカードとポストを設置した。 また、このカードにより子どもたちのおすすめ本を活用した展示を行った。
			評価 「おすすめ本紹介コーナー」を見た子どもたちがその図書に興味を持つきっかけとなった。
			課題 「おすすめ本紹介コーナー」を子ども同士の情報交換の場や、図書館職員との交流の場にできるよう工夫することが必要である。
6	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
親子同士のふれあいの場の整備 中央図書館	乳幼児の親子が周囲に気兼ねなく絵本を読んだり、保護者同士の交流を図る「親子同士のふれあいの場」を「おはなしのへや」の活用や「赤ちゃんタイム」の設定等により、整備します。	乳幼児期から親子が本に親しむことができる場として整備します。 今後も多くの親子が利用できるよう周知します。	一部の館では新型コロナウイルス感染症の影響により事業を休止していたが、多くの館で「おはなしのへや」の活用や「赤ちゃんタイム」の設定、関連イベント等を実施した。
			評価 親子同士のふれあいの場として機能するだけでなく、保護者同士の交流にもつながっている。
			課題 乳幼児の親子がより気兼ねなく利用できるよう、さらに環境の整備に努める必要がある。

7	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
新こども図書館の検討	新中央図書館等の建設に併せて、新こども図書館の整備を検討します。	新こども図書館の整備については、新中央図書館等の建設と併せて、第五次推進計画期間中も検討します。	近年建替えを行った都内自治体の図書館を視察し、視察内容を、新宿区立図書館運営協議会と情報共有した。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 「新宿区公共施設等総合管理計画」に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響や今後の社会経済状況、ICT化の急速な進展等、公共図書館を取り巻く環境の変化を踏まえ、新宿区立図書館運営協議会において意見交換を行った。
中央図書館			<p style="text-align: center;">課題</p> 新中央図書館等の建設は検討中であり、新こども図書館の整備についても引き続き検討することが求められる。 また、現在の図書館運営の中での利便性や利用者のニーズを新館建設時に反映できるよう準備を進めていく必要がある。
8	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
利用者登録の推進	行事などの機会を通して利用者登録の増加を図り、区立図書館利用の促進につなげます。 また、小学生及び幼稚園・保育園・子ども園等に対して図書館利用登録を呼びかけます。	新一年生等への図書館利用案内等やイベント周知を行い、区立図書館の利用者登録と利用促進を図ります。	新一年生を対象とした区立図書館の利用者登録及び利用促進は例年通り4月に行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、幼稚園・保育園・こども園等に対するポスター掲示依頼は休止した。 その他の利用促進は図書館見学や出張おはなし会などの機会を活用し適宜行った。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 各種イベントの機会を活用し、積極的に区立図書館の利用や利用者登録の促進を図った。
中央図書館			<p style="text-align: center;">課題</p> 普段図書館を利用しない子どもたちに区立図書館をアピールできるような、魅力あるイベントを企画するなどの工夫が必要である。

9	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子ども読書講演会の開催	子どもたちや保護者の読書意欲を高め、家庭読書のきっかけとなる講演会を開催します。	家庭読書のきっかけとなる講演会を実施し、子どもたちや保護者の読書意欲を高めます。	子どもたちや保護者の読書意欲を高めるための講演会を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 「日本の伝統芸能にふれる～『狂言』ワークショップ～」 参加者：20名 (四谷図書館) 「教えて！新聞記者さん わかりやすい文章の書き方・正しい情報の見分け方」 参加者：11名 (戸山図書館) 本と絵本の講座「親子で科学の本を楽しもう！ ー科学リテラシーを身につけるー」 参加者：17名 (こども図書館) ほか
			評価
			講演会の開催により、家庭読書のきっかけとなる機会を提供することができた。また、講演会に関連した図書展示を行うことで親子で図書を選び、親しむきっかけとなった。
			課題
中央図書館			子どもたちや保護者の読書意欲を高めるため、今後も様々なテーマで講演会を企画する必要がある。
10	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子ども向け行事の開催	工作会、科学あそび、映画会、人形劇会、インターネット等を活用した調べ学習や情報リテラシー講座等、楽しく参加し、図書館や読書に親しむ行事を開催します。	子ども向け行事の内容の充実を図り、図書館に来館する機会や利用の推進、家庭読書の推進につなげます。	各図書館で様々なイベントを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 親子で楽しむ季節の工作 紙粘土でクリスマスツリー 参加者：31名 (角筈図書館) かがくあそび「じしゃくであそぼう」 参加者：15名 (こども図書館) 夏休みこども映画会「ムーミンー消えないおばけー」 参加者：21名 (北新宿図書館) 人形劇「おかいものできるかな？」「さるカニ合戦」 参加者：39名 (西落合図書館) ほか
			評価
			昨年度より多くのイベントを開催することができた。また、イベントに関連した図書の展示等を行うことで貸出の促進につなげることができた。
			課題
中央図書館			SNSを活用するなど幅広く広報活動に力を入れることで、図書館のイベントを周知する必要がある。

11	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
学校と区立図書館との連携推進	区立図書館の見学会や学校訪問、職場体験の受入れ、団体貸出などを活用し、学校と区立図書館との連携を推進します。	区立図書館と学校、学校図書館との意見交換を通じて、学校の意見を参考に学校への読書支援を検討し、相互の連携を推進します。	新型コロナウイルス感染症の影響があったが、教員研修や図書館見学、職場体験を引き続き受け入れた。 また、学校に対する団体貸出も継続して行った。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた昨年度と比較し、多くの学校や児童・生徒を受け入れることができた。
中央図書館教育支援課			<p style="text-align: center;">課題</p> 引き続き教員研修や図書館見学、職場体験の受け入れを行い、学校との意見交換をする場をより多く設ける必要がある。
12	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子育て関連施設と区立図書館との連携推進	区立図書館の団体貸出を活用し、幅広い図書を提供するとともに、図書館の出張お話し会等を行うなど図書館と子育て関連施設が連携して、子どもの読書活動を支援します。	子育て関係施設に対する団体貸出を活用して、発達段階等に応じた幅広い図書を提供していきます。	検温やマスク着用などの感染症対策を取りながら、子育て関連施設の職員が来館して団体貸出を行った。 また、幼稚園、保育園、子ども園や学校で読み聞かせを行う際には、密にならないよう大型絵本を活用する等配慮が必要となるため、こども図書館では大型絵本の収集に努め、資料提供を行った。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 生活様式の変化に合わせた資料収集、資料提供を行うことができた。
中央図書館			<p style="text-align: center;">課題</p> テーマや季節、社会の変化、発達段階に応じた資料提供できるよう各団体のニーズ及び出版に関する情報収集を行う必要がある。
13	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
学校向け団体貸出の充実：「朝読書セット」・「学習支援便」等	学校向けに「朝読書セット」と「学習支援便」を団体貸出します。 ・「朝読書セット」は、年齢層等に応じ配本します。養護学校用もあります。 ・「学習支援便」は、学校からの依頼を受け、学校の授業で使用する資料を選書して配本します。	学校の意見・要望を把握しながら、配本する図書の内容の充実を図ります。	朝読書セットの貸出や学習支援便による資料提供を行った。 〔朝読書セット〕 令和3年度 628セット 令和4年度 604セット 4%減 〔学習支援便〕 令和3年度 333件 令和4年度 371件 111%増
			<p style="text-align: center;">評価</p> 過去、学習支援便で活用した図書をリスト化し、依頼に役立てている。 また、小学生国語の単元で多くの依頼が寄せられる「どうぶつのおしゃべり」と「じどう車くらべ」をセットとし、効率的に貸出ができるようにした。
中央図書館教育支援課			<p style="text-align: center;">課題</p> 学校の意見・要望を把握しながら、配本する図書の内容の充実を図るための検討が必要である。

14	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
新宿区立図書館を利用した調べる学習コンクール	<p>図書館利用の促進等を目的に地域図書館が学校と連携して、地域図書館ごとに「地域コンクール」を実施します。</p> <p>地域図書館や学校で調べ学習講座を行い、地域図書館の合同審査会で優秀作品を決定します。</p>	<p>事業を通じて、子どもたちの図書館利用や調べ学習を普及することで、探求心や自己解決能力、自ら学ぶ力を育みます。</p>	<p>例年どおり、地域図書館においては調べる学習コンクールを実施し、これに関連して調べる学習講座や学校への出張授業、学校訪問を行った。</p> <p>また、地域コンクールにおいて館長賞及び優秀賞となった作品は全国コンクールへ出品した。</p> <p>参加校39校 応募総数2,162点 表彰数210点（館長賞16点、優秀賞13点、奨励賞181点）</p>
			<p>評価</p> <p>昨年度と比較して応募総数が増加し、それに伴い表彰数も増加した。</p>
			<p>課題</p> <p>昨年度と比較して応募総数は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準を取り戻すには至っていない。</p> <p>引き続き調べる学習講座や学校への出張授業、学校訪問等を通じて子どもたちへのサポートを継続することで、応募総数の増加と作品の質の向上を目指す必要がある。</p>
中央図書館			
15	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
学校図書館への新刊選書リスト作成・提供	<p>区立図書館が、購入した新刊本の中から学校図書館の選書に役立つように図書リストを作成し、各小・中学校に提供します。</p>	<p>学校図書館との意見交換会や会議を通じて、学校のニーズを把握しながら、活用しやすいリストの作成・提供に取り組んでいきます。</p>	<p>区立図書館が購入した新刊本の中から学校の授業に役立つ資料等をこども図書館職員が選定し、内容説明を加えた新刊選書リストを毎月作成し区立学校へ送付した。</p> <p>また、学校イントラネットへも掲載した。</p>
			<p>評価</p> <p>各教科の単元で活用できる資料にはその旨を記し、提供したことで学校の授業に役立てることができた。</p>
			<p>課題</p> <p>学校のニーズや利用状況を把握する機会を充実させて資料購入を行い、新刊選書リストに反映する必要がある。</p>
中央図書館			

16	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
学校図書館の運営の充実	<p>子どもが進んで学校図書館を利用し、活用できるよう、司書等の資格を持つ図書館スタッフを配置します。</p> <p>また、保護者や地域協働学校の支援部などの学校ボランティア等と連携して、学校図書館運営の充実に努めます。</p> <p>具体的には、区立図書館との連携による保護者や地域の方を対象とした読み聞かせボランティアの養成講座の開催や各校で独自に行っている図書館支援関係の研修会への講師の紹介などを地域協働学校と協働して推進していきます。</p>	<p>学校図書館担当教員等との連携を図りながら、授業の内容に関連した図書展示等の充実に図ります。</p> <p>また、各校に配置している学校図書館支援員等による専門的な支援や地域協働学校の支援部などの学校ボランティア等との連携により、学校図書館運営の充実に図っていきます。</p>	<p>図書展示においては、他校で実施された有効な読書活動を図書館スタッフ全体研修で学んだことを活かし、自校の図書展示等の充実に図った。</p> <p>また、ボランティア等と連携し、読み聞かせを行うなど、学校図書館の利用促進を図った。</p>
	<p>評価</p>	<p>教員等と連携しながら、工夫を凝らした図書展示等により、学校図書館の運営の充実にできた。</p>	
	<p>課題</p>	<p>子どもたちの学校図書館への期待を高め、さらなる利用につながるよう工夫していく必要がある。</p>	
教育支援課			

17	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
学校図書館への学校図書館支援員の配置	学校図書館支援員を（週2回程度）配置し、図書購入や児童生徒の読書案内・レファレンスを行うことで、子どもの読書活動を推進するとともに、調べ学習など、学校図書館を教育活動で一層活用していきます。	学校図書館支援員の配置：39校 学校図書館活用推進員の巡回：40校	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館支援員の配置：39校 学校図書館活用推進員の巡回：40校 	
			評価	学校図書館支援員を全区立小中学校に配置し、図書購入や児童生徒の読書案内・レファレンスを行うなど、学校図書館の充実を図ることができた。
			課題	学校図書館支援員が中心となって教員と連携しながら、子どもたちの学校図書館へ期待を高め、利用につながるよう工夫していく必要がある。
教育支援課				
18	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
学校図書館の蔵書の充実	学校図書館において、魅力ある図書や教科に直結した調べ学習に必要な資料の充実を図ります。 蔵書を計画的に更新するとともに、区立図書館と連携し、配本サービスを活用します。 また、児童・生徒のニーズの反映を図るため、児童・生徒が選書に参加する仕組みづくりについても検討します。	各校の学校図書館図書標準数に対し、毎年、計画的に7%程度の学校図書を更新していきます。 また、区立図書館との連携を図りながら、区立図書館の配本サービスを効果的に活用していきます。 さらに、児童・生徒のニーズ等を把握し、蔵書に反映する仕組みを検討します。	【図書更新】 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 15,484冊（更新率 6.9%） 中学校 6,134冊（更新率 7.0%） 	
			評価	学校図書の更新率について、おおむね目標を達成することができ、区立図書館の配本サービスを活用しながら、授業や単元に関連した図書の提供ができた。
			課題	学校図書館と併用しながら、GIGA端末を活用した自学自習・調べ学習等を支援する仕組みづくりが必要である。
教育支援課 教育指導課				

19	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
校内読書環境の整備	<p>子どもの読書意欲を高めるために、学校図書館の「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」の機能向上を図ります。</p> <p>そのために、学校図書館検索システムを活用し、図書の分類・配架の工夫、本の内容紹介コーナーの設置等、学校図書館の読書環境整備を行います。</p>	<p>各校に配置している学校図書館支援員等が子どもの年齢や発達段階等に応じたレファレンスや読書相談などの専門的支援を行います。</p> <p>また、学校図書館支援員と図書館担当教員が連携して、単元や授業の内容に関連した図書展示等の充実を図るなど、読書環境の向上を検討します。</p> <p>さらに、学校図書館の放課後等開放を小学校全29校で実施し、放課後子どもひろばや放課後子どもひろばプラス、学童クラブと連携を図りながら、放課後等に自学自習や調べ学習ができる環境の充実を図ります。</p>	<p>学校図書館支援員が図書を手に取った児童生徒からレファレンスを受け、関連図書の紹介を行うなど読書推進支援を行うとともに、単元や授業の内容に関連した図書展示等の充実を図った。</p> <p>また、放課後等に学校図書館を開放し、読書活動の推進と自学自習や調べ学習ができる環境を確保した。</p>
	評価	<p>学校図書館支援員と教員が連携し、工夫を凝らした図書展示等により、校内読書環境の整備が図れた。</p>	
	課題	<p>学校図書館支援員が中心となって教員と連携しながら、子どもたちの学校図書館への期待を高め、さらなる利用につながるよう工夫していく必要がある。</p>	
教育支援課			

20	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
図書館利用指導の推進	各学校が区立図書館と連携し、区立図書館の利用方法を区立小・中学校の児童・生徒に指導します。	計画どおり、区立小・中学校において、1学期はじめを中心に、適切な時期に学校図書館・区立図書館の利用方法について指導を行い、区立図書館の積極的な活用を図ります。	各学校とも教員・学校図書館支援員が国語の時間やオリエンテーションを活用して学校図書館や区立図書館の利用方法について指導を行った。 また、図書館においては図書館見学や学校訪問、職場体験の受け入れを行った。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた図書館見学や学校訪問件数が増加した。
各学校 中央図書館			<p style="text-align: center;">課題</p> 引き続き教員や学校図書館支援員、図書館職員が連携し、子どもたちが学校図書館や区立図書館を活用できる機会を提供することが必要である。
21	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
家庭教育講座における読書活動支援	PTAが主体的に取り組む家庭教育講座への助言を通して、保護者の読書活動を積極的に支援します。	保護者に読書の楽しさ、大切さを周知することは、子どもの読書活動に大切なため、第五次推進計画期間中も継続して資料・情報の提供を行います。	読み聞かせの充実等を目的とした講座を開催した。 また、読書活動に関する資料・情報の提供を行うなど、各講座ごとの助言を通して支援を行った。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 新型コロナウイルス感染症の影響により講座の開催が見送られ、対面での講座の実施が困難な際は、オンラインを活用した講座を開催した。
教育支援課			<p style="text-align: center;">課題</p> 未だ新型コロナウイルス感染症の影響で家庭教育講座の実施が見送られることが多く、感染症拡大前の実績数に及ばないため、引き続き読書活動に関する資料・情報の提供をホームページなどを通じて保護者に向け行っていく必要がある。
22	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
学校図書館の放課後等開放（小学校）	小学校の学校図書館を放課後等に児童に開放し、読書活動をより一層推進するとともに、学校図書館検索システムやインターネット等を活用した調べ学習、自学自習ができる環境を整備します。	学校図書館の放課後開放を小学校全29校で実施し、放課後等に自学自習や調べ学習が可能となる環境の充実を図ります。 また、放課後子どもひろば及び放課後子どもひろばプラス、学童クラブとの連携を図りながら、放課後等における学校図書館の利用促進に取り組んでいきます。	小学校全校で実施し、読書活動の推進と自学自習や調べ学習ができる環境を確保するとともに、放課後子どもひろば等と連携し、利用促進に取り組んだ。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 小学校全校で実施し、放課後等における学校図書館の利用促進を図った。
教育支援課			<p style="text-align: center;">課題</p> 小学校の学校図書館の放課後等開放において、放課後子どもひろば等と連携し、より一層、子どもたちの読書活動を推進する必要がある。

23	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
幼稚園・保育園・子ども園等の絵本コーナーの整備	幼稚園・保育園・子ども園等では、子どもが様々な絵本と出会えるよう、子どもの目線に立った本棚の高さや、本の並べ方、採光を工夫するなどするとともに、乳幼児の発達年齢や季節等を考慮して、園の環境に応じて絵本コーナーを設置しています。	引き続き、子どもの興味・関心が湧き、自分で読みたいくなるような絵本や童話に出会えるよう、絵本コーナーを整備します。 子どもが使いやすいよう本棚の設置や本の入れ替えを行い、いつでも子どもが自ら進んで本に親しめるようにしていきます。	各クラスに絵本コーナーを設置し、子どもたちの興味や感心、発達状況、季節に応じて絵本の入れ替えを行った。 また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた絵本の貸出を再開する園が増えた。	
			評価	児童が絵本に親しむよう工夫した点、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた絵本の貸出を徐々に再開させられた点を評価する。
			課題	引き続き、子どもが本に親しみやすい環境整備を行う。 また、まだ絵本の貸出を中止している園もあるため、徐々に環境を整備し、実施できるようにしていく必要がある。
学校運営課 保育課 保育指導課				
24	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
幼稚園・保育園・子ども園等と区立図書館の連携推進	近隣の区立図書館を園児と訪問し、多くの絵本とふれあう機会を設けています。訪問時に本を借りることもあり、子どもたちが図書館を身近に感じ、親子で図書館を利用するきっかけづくりをしています。 また、団体貸出を活用し、絵本コーナーの充実や読み聞かせに役立っています。	引き続き、近隣の図書館を訪問し、多くの絵本に触れる機会を増やすとともに、図書館を身近に感じられるよう、出張読み聞かせなどを活用し、図書館との連携を図ります。	団体貸出図書を利用し、多彩な種類の絵本や紙芝居を活用することができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により図書館の利用を控えていた園もあったが、今年度は図書館を訪問し、絵本の貸出や読み聞かせに参加する園が増えた。	
			評価	団体貸出を通じて、子どもたちが様々な絵本を楽しむことができた。 また、新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら図書館と連携し、絵本の貸出や読み聞かせの機会を作ることができた。
			課題	団体貸出や図書館における読み聞かせを利用していない園もあるため、積極的な利用を進めていく必要がある。
学校運営課 保育課 保育指導課				

25	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
男女共同参画推進センターでの貸出の推進	男女共同参画推進センターでは、図書館情報システムと連携して、男女共同参画に関する情報の収集と提供を行います。当センターの専門性を生かした児童及び青少年向けの資料の充実を図ります。	男女共同参画に関する児童書及び青少年向けの専門的資料の充実を図り、センター図書資料室の利用促進を図ります。	継続して児童及び青少年向け図書の購入を行うとともに、貸出を行っている。
			令和4年度 児童・青少年向け蔵書数 計990冊 (内訳) 児童書 214冊(うち紙芝居 30冊) 絵本 540冊 青少年向け図書 236冊 (児童・青少年向け図書の購入 45冊)
			評価
			児童・青少年向け蔵書数は昨年度(計945冊)に比べて増えており、資料の充実が図られている。
男女共同参画課			課題
			男女共同参画に関する児童書及び青少年向けの専門的資料の蔵書をさらに充実させる。
26	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子ども総合センター・児童館等の読書環境の整備	身近な場所で読書に親しむ機会を提供するため、子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の図書室において子どもがよりよい本を手にするような環境づくりに努めます。	身近な読書環境である各施設において、子どもたちが利用しやすい工夫を行います。	読み聞かせ行事に使用した本を目立つ場所に展示する。子どもたちが図書を探しやすくするために、色マークを付けて書架に並べる等、読書に親しむことができる環境づくりに努めた。
			評価
			本の展示方法を工夫することにより、子どもが読書に親しんだり、読み終わった本を整頓するなど片付けまで行うようになった。
			課題
子ども総合センター 子ども家庭支援課			引き続き、備品の整備や本の展示の工夫などを行い、子どもが本に親しむことができる環境整備を行う。
27	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子ども総合センター・児童館等の蔵書の充実	子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の図書室が、バランスのとれた魅力ある図書室となるよう、図書の充実を図り、計画的に図書の廃棄・購入を行います。	図書を計画的に廃棄・購入し、蔵書の内容の充実を図ります。 また、こども図書館の団体貸出を利用し、幅広い図書を提供します。	古くなった本を廃棄し、人気や要望のある本を購入するなど、蔵書の充実を図った。
			また、こども図書館の団体貸出を利用し、子どもが定期的に新しい本を手にする機会を提供した。
			評価
			定期的に本の入れ替えを行うことにより、子どもが興味を持って読書に取り組んでいる。
子ども総合センター 子ども家庭支援課			課題
			引き続き、定期的に本の入れ替えを行い、子どもが様々な本を手にする機会を提供していく。

28	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子ども総合センター・児童館等の図書貸出の推進	身近な場所で読書に親しむ機会を提供するため、子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等の図書室で所有する図書の貸出を行います。	各施設において図書の貸出しを実施します。	新型コロナウイルス感染症対策として、図書の貸出し等は実施せず、館内での読書のみとした。
			評価
			新型コロナウイルス感染症拡大防止を優先したため、やむを得ないと評価する。
子ども総合センター 子ども家庭支援課			課題
			今後の状況により、図書の貸出しの再開を検討する。
29	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
保健センターの乳幼児健康診査等の待合場所への絵本の設置	乳幼児健康診査等(0歳児・3歳児)の待合場所に、保護者と乳幼児が自由に手にとって見たり読んだりできるよう、魅力ある絵本を揃えます。	魅力ある蔵書を保ち、子どもたちが読書に親しむ機会を提供します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、待合場所への絵本の配置を取りやめた。
			評価
			感染拡大を防止するためには、やむを得ない措置と評価する。
保健センター			課題
			保護者や乳幼児が絵本を自由に手に取ることができるよう、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、絵本の配置場所や再開時期を探る必要がある。
30	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
家庭読書の推進	家庭で子どもが自分で本を読んだり、読書について家族で語り合うことで、子どもの読書習慣を日常生活の中で育む「家庭読書」の普及を図ります。各課が連携して、子どもと本との出会いや読み聞かせを図り、保護者への周知を図ります。	期間中は各課が連携して事業を推進します。 また、読書手帳等の充実を図り、子どもの読書習慣の醸成につなげます。	図書館ではイベントの実施や展示に加え、読書手帳や推薦図書リストを配布し、家庭読書の推進に取り組んだ。 おすすめの本を掲載した広報紙を配布した関係機関もあった。
			評価
			各関係機関が様々な方法を用いて子どもたちの家庭読書の推進に取り組むことができた。
推進計画全所管課			課題
			家庭によって読書に対する意識に差があるため、引き続き様々な手段を用いて家庭読書の普及を図る必要がある。

31	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
区立図書館でのお話会の充実	お話し会を区立図書館全館で定例的に実施するとともに、季節のお話し会や、外国語によるお話し会を行います。 また、ボランティアによるお話し会も行います。	子どもたちが本に親しむことができるよう、お話し会内容を工夫し、読み聞かせボランティアと協働して実施します。 また、お話し会の開催情報を広く周知します。	各区立図書館で新型コロナウイルス感染症対策を徹底してお話し会を実施した。 令和3年度 201回 令和4年度 623回 210%増
			評価 新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には至っていないが、職員やボランティアによるお話し会が再開し、昨年度と比較して大幅に実施回数が増加した。
中央図書館			課題 新型コロナウイルス感染症の対策をすることで申込みや参加者数が伸び悩んでいるため、お話し会開催の周知に力を入れる必要がある。
32	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
出張お話し会・施設訪問の実施	本に親しみを持ってもらうために、学校や保育園、児童館など要望のあるところへ出張してお話し会を実施します。	子どもたちが本に親しむことができるよう出張お話し会・施設訪問を実施します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、病院に対する出張お話し会は中止となったが、引き続き学校や保育園、児童館などで出張お話し会を実施した。 令和3年度 66件 令和4年度 55件 17%減
			評価 新型コロナウイルス感染症の影響がある中で感染症対策を徹底しながら出張お話し会を実施することができた。
中央図書館			課題 新型コロナウイルス感染症の影響により、出張依頼が途絶えてしまった利用団体がある。各施設と連携しながら、再開に向け協議する必要がある。
33	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
図書館の団体利用の活用	幼稚園・保育園・子ども園等の園児が来館した際や学校の授業の一端として学年単位、クラス単位で来館する団体を受入れます。 また、図書館の利用が身近になるよう、利用団体と連携し、図書館の説明やお話し会を実施します。	子どもたちが図書館に親しみを感じ、利用促進につながるよう団体受入れを実施します。	幼稚園・保育園・子ども園等図書館見学会や団体利用、中・高生の職場体験、お話し会など、利用が全館徐々に増えてきた。 また、区内の日本語学校による集団利用登録や案内説明を3回実施した。
			評価 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の緩和により利用者が増加した。これらをきっかけに保護者と来館する児童もおり、継続的な利用に繋がられた。
中央図書館			課題 さらに団体利用を促進するためには、図書館の近隣児童施設や学校等に団体利用が可能なことや、出張お話し会などの各種事業を周知していく必要がある。

34	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
読み聞かせ講習会の開催	図書館の読み聞かせボランティアや、区立小学校図書ボランティア、保護者を対象に読み聞かせ講習会を開催します。	学校や地域、子育て家庭で読み聞かせが普及するよう読み聞かせ講習会を実施します。	学校や地域、子育て家庭で読み聞かせが普及するよう講習会を実施した。 ・「読み聞かせ講座 絵本編」 参加者：9名 (中町図書館) ・「読み聞かせ講座 紙芝居・手遊び・わらべ歌編」 参加者：6名 (中町図書館)
			評価
			読み聞かせの心構えや子どもの成長に与える影響などを学ぶことで、全員が共通理解をもって読み聞かせを始めることができた。 また、新たにサポーター活動を始める方もいた。
			課題
中央図書館			新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた期間が長かったため、改めて講座の運営方法を検討する必要がある。
35	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
プレママ・プレパパ保護者への読み聞かせ講座の実施	妊娠期のご家庭（プレママ・プレパパ）や乳幼児期の保護者を対象とし、専門講師から家庭の読書の楽しさや意義を学び、本の読み方や選び方を体験することを目的とする講座を実施します。 実施にあたっては、講座に参加する妊婦の健康面への配慮や、様々な関係先との連携、参加者への周知等について、その方法を十分に検討します。	子どもが生まれ、育児に手を取られる前から、保護者等に幼い頃からの読書が子どもの成長に果たす意義を周知していきます。	子どもが生まれ、育児に手を取られる前から、保護者等に幼い頃からの読書が子どもの成長に果たす意義を周知するため講座を実施した。 ・保護者向け工作会「手作りおもちゃを作りますか？」 参加者：7名 (鶴巻図書館) ・子育て支援イベント「親子で一緒に！楽しくリフレッシュ体操」 参加者：8名 (下落合図書館)ほか
			評価
			講座実施後にアンケートを実施したが、非常に好評であった。 また、引き続き絵本でふれあう子育て支援事業において、ブックリストの配布や保健センターに啓発ポスターを掲示するなど、読書が子供の成長に果たす意義は周知できた。
			課題
中央図書館			家庭内での読書活動により繋げていけるような講座とする。

36	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
新宿子育てメッセにおける子ども読書活動の周知	<p>区内の子育て関係団体の交流を目的とした「新宿子育てメッセ」に出展し、区立図書館の利用案内や「絵本でふれあう子育て支援」の周知など子ども読書活動の普及に努めます。</p> <p>また、新宿子育てメッセ来場者に向けて、家庭読書の周知や区立図書館の利用登録の促進を図ります。</p>	<p>多くの区民に子ども読書活動の趣旨普及を図り、家庭での読み聞かせを推進する場として実施します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により「新宿子育てメッセ」はオンライン及び会場分散各施設の開催となった。図書館では、6月5日に中央図書館会議室にて、こども図書館主催で「絵本で楽しい子育て応援中!!」をテーマに1対1でのおはなし会や絵本の展示を行った。</p>
			<p>評価</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止だったイベントを再開するなど、実現可能な方策を検討し子ども読書活動の普及に努めた。</p> <p>こども図書館および保健センターでの読み聞かせ担当館が協力して開催した。参加図書館のおはなし会や、子ども向け行事イベントのチラシを配布したため、区立図書館として良いPRができた。</p>
中央図書館 子ども総合センター 子ども家庭支援課			<p>課題</p> <p>区内の子育て関係団体の交流をさらに促進し、イベント運営に関与するなど、子ども読書活動の普及活動をより積極的かつ継続的に行う必要がある。また、関係各課と協力しながら、必要に応じてイベント運営に協力体制を整えていく必要がある。</p>
37	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
絵本でふれあう子育て支援	<p>保健センターで実施する乳幼児健康診査等（0歳児・3歳児）に来た親子を対象に、地域ボランティアによる読み聞かせと絵本の配付を行います。</p> <p>0歳児の親子には絵本2冊を配付し、読み聞かせを行いながらその意義を説明しています。</p> <p>3歳児の親子にも読み聞かせを行い、絵本1冊を中央図書館・地域図書館で配付して、利用促進につなげています。</p>	<p>読み聞かせの普及と家庭読書の推進につながるよう実施します。</p>	<p>3～4か月児健康診査での絵本（2冊）の配布及び3歳児健康診査での絵本引換券の配付は実施したが、読み聞かせについては中止した。また、令和5年3月から絵本の読み聞かせについては、こども図書館を会場として代替実施している。</p> <p>図書館は、3歳児を対象として配付している絵本の見本を用意することで、子どもや保護者に絵本選びの手助けを実施している。</p>
			<p>評価</p> <p>令和5年3月から読み聞かせについては当面こども図書館で行うこととし、その周知を行ったことで、図書館への誘導及び利用促進につなげることができた。</p> <p>3歳児絵本の引き換えの際、図書館の利用者登録を勧めることで、新規登録の促進に繋がった。</p>
中央図書館 保健センター			<p>課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乳幼児健康診査等はコロナ禍以前とやり方を変え、密を避けるように健診会場を設置している。さらに令和5年度から3歳児健診では健診項目が増えるため、今後の実施方法について検討する必要があり、運営方法について、状況を見極めながら保健センターと協議していく必要がある。</p>

38	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
幼稚園・保育園・子ども園等の絵本の読み聞かせの推進	日常的に行う読み聞かせは、幼児に豊かな心情を育むことから、幼稚園・保育園・子ども園等において、絵本に親しむ機会を設け、個別又は友達と一緒に絵本の内容や言葉の楽しさ、美しさに触れられ、楽しめるように支援していきます。	子どもの発達段階や興味・関心に応じた絵本を選び、日常的に読み聞かせを行うことで、絵本に親しむ機会を増やし、感性を育てていきます。	<p>発達に応じた方法で季節や行事に合わせて保育者が読み聞かせを行った。また、絵本の読み聞かせボランティアと連携し、子どもたちが絵本を楽しめるような取り組みを行った。</p> <p>各学年や学級の実態に応じた絵本を、降園前や園行事の中で読むようにした。また、外国につながるの幼児が多い園では、学期に1回程度保護者や図書館司書の方に外国語での読み聞かせをしてもらい、友達の国の絵本や言葉に親しみをもてるような機会を作った。</p>
			<p style="text-align: center;">評価</p> <p>読み聞かせを行う際は、集中できる人数や環境を各年齢に合わせて配慮した。子どもの興味関心が広がり、わからないことがあったら図鑑で調べようとする姿にも繋がっている。</p> <p>読み聞かせをする絵本を精選したり、幼児の反応がよかった絵本を園内の職員と共有したりしたことで、絵本に親しみをもつ幼児が多くなった。担任が読み聞かせに使用した本を本棚に入れておくことで、自分から手にとって本に親しむところも見られた。</p>
学校運営課 保育課			<p style="text-align: center;">課題</p> <p>引き続き、発達段階に応じた絵本の選定を行う。</p> <p>また、各年齢層の子どもたちの興味や社会の変化に合わせて、読み聞かせの仕方を工夫する必要がある。</p>
39	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
幼稚園・保育園・子ども園等での絵本の貸出	親子のふれあいが豊かに育まれるように絵本の貸出しを実施しています。	園にある絵本を家庭でも読むことができるように、貸出用の絵本の充実を図ります。	<p>園にある絵本を、家庭で親子で楽しめるように、貸し出す活動を行った。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、貸し出しを行わない園もあったが、園で読み聞かせを行った絵本を保護者に知らせるなどし、興味関心を持ってもらうよう努めた。</p>
			<p style="text-align: center;">評価</p> <p>絵本の貸し出しを行うことで親子で一緒に絵本を見る機会を設けることができた。絵本の貸し出しを楽しみにする声や借りた絵本を保護者に見せる姿があった。保護者の中でも、絵本貸し出しを楽しみにしている方が多い。また、絵本ノートが家庭とのコミュニケーションの一環となっている園もある。</p>
学校運営課 保育課	<p>図書の充実を図り、借りやすい環境を整え、家庭での読み聞かせや絵本に親しむ機会を支援します。</p>		<p style="text-align: center;">課題</p> <p>家庭での絵本時間をより良いものにできるように、貸し出しコーナーの充実を図る。</p> <p>絵本ノートの記入が、負担にならないような工夫が必要である。</p>

40	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
幼稚園・保育園・子ども園等における家庭読書活動の支援	<p>子どもの興味・関心のある絵本の紹介や、読み聞かせを実践することにより、本を通じて親子が触れ合い楽しめるよう支援していきます。</p> <p>また、「保護者会」や「家庭教育講座」などで保護者に助言を行い、読書活動の参加を促します。</p>	<p>絵本を「園だより」などで紹介するとともに、「家庭教育講座」や「保護者会」等でも絵本の紹介や読み聞かせの実践を行っていきます。</p> <p>また、区立図書館からの出張読み聞かせなども活用し、絵本を身近に感じてもらうことで家庭における読書活動を支援します。</p>	<p>園で読んだ絵本を保護者が見えるように設置したり、読み聞かせをしている本や、おすすめの本を紹介したり、家庭読書への関心を促すようにした。また、懇談会の後に、親子の読書タイムを設け、親子で読み聞かせをする機会になるようにした園もあった。</p>
			<p>評価</p> <p>絵本の紹介に加え、子どもの発達段階についても説明を行ったため、保護者の関心に繋がった。実際に呼んでいる本を設置することで、降園時の親子の会話に繋がり、家庭読書のきっかけとなった。</p> <p>親子の読み聞かせの時間を、園の活動として設けることで、親子ともに、絵本を楽しむ姿があった。読み聞かせも、保護者の膝に座って読むことを楽しむ幼児が多く、ふれあいの機会にもなった。</p>
学校運営課 保育課			<p>課題</p> <p>外国にルーツを持つ子どもや読書に関心の低い家庭に対する働きかけを検討していき、図書館の出張読み聞かせを活用し、絵本に触れる機会を増やしていきたい。</p>
41	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子ども総合センター・児童館等における読み聞かせ会の実施	<p>子ども総合センター・子ども家庭支援センター・児童館等で、子育て支援の一環として幼児サークルを実施し、乳幼児親子に、つどいと交流の機会を提供します。幼児サークルのプログラムに読み聞かせを積極的に取り入れ、保護者と子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。</p>	<p>身近な場所で子どもや保護者が読み聞かせに親しむ機会を提供していきます。</p>	<p>職員やボランティアによる読み聞かせを実施した。また、年齢や発達に応じたおすすめの本の紹介を行った。</p>
			<p>評価</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、感染対策を講じながら、保護者と子どもが読書に親しむ機会を継続的に提供することができた。</p>
子ども総合センター 子ども家庭支援課			<p>課題</p> <p>引き続き、乳幼児の親子につどいと交流の機会を提供し、保護者と子どもが読書に親しむ機会の提供を行っていく。</p>

42	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
子ども読書リーダー講座の開催	子どもたちが自ら読書活動の中心となることを目指し、小学4年生から中学生を対象に、本や図書館の楽しさを実感できる講座を開催します。	子ども同士で読書の楽しさを体験し、図書館利用を促進する事業として、引き続き、学校と連携しながら区立図書館全館で取り組みます。	各区立図書館で本や図書館の楽しさを実感できる講座を開催した。 ・「『絵本を届ける運動』をしてみよう」 参加者：10名 (大久保図書館) ・「1日図書館員体験」 参加者：42名 (こども図書館) ほか
			評価
			子どもたちは積極的に講座に取り組んでいた。「子ども読書リーダー」として、読書活動にも積極的に関わっていく人材を育成する機会となっていると評価する。
			課題
中央図書館			今後はオンラインを活用した講座など、事業の実施方法を検討する必要がある。
43	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
推進図書リストの充実	推薦図書リスト「クローバー」に、児童向け図書館だよりの要素を盛り込んで、更に充実した内容にします。	引き続き、子どもたちが読みたくなるような本を紹介し、子どもたちが多くの本と出会い、家庭読書の推進にも役立つようにします。	小学生向け図書推薦リスト「クローバー2023」の配布を行った。 各小学校・新宿養護学校（児童数分） 9,500部配布 図書館及び児童館や地域センターなどの関係施設 34カ所2,200部配布 中学生向け図書推薦リスト「C l o v e r 2023」の配布を行った。 各中学校・新宿養護学校（生徒分） 2,800部配布 図書館及び子ども総合センターや地域センターなどの関係施設 24カ所2,100部配布
			評価
			推薦図書リスト「クローバー」の配布及びホームページへの掲載により、多くの本に出会えるきっかけを作ることができた。
			課題
中央図書館			学校や関係機関から子どもたちが読みたくなる本の情報を収集し、内容のさらなる充実を図ることが求められている。

44	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
スクールの活用	地域特性を活かした教育活動を展開するため、学校にスクールスタッフを派遣し、学校図書館における読み聞かせなど読書活動を支援します。	学校に必要な人材を地域から受け入れ、さまざまな学校教育活動の支援に幅広く活用し、地域特性を活かした教育活動を展開していきます。	スクールの活用した図書館整備や読み聞かせなどを行った。 「活動校数」小学校19校、中学校8校：「活動回数」小学校845回、中学校411回
教育支援課			評価 本の選書や整理、読み聞かせを行うなど、読書活動支援ができた。
			課題 スクールの活用し、より一層、地域特性を活かした教育活動を展開していく必要がある。
45	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
読書感想文集「けやき」の発行	毎年、区立小・中学校の児童・生徒から読書感想文を募集し、読書感想文集「けやき」を発行します。 また、読書感想文集「けやき」を学校・区立図書館・児童館に配布し、読書の案内役として役立たせます。	区立小・中学校全校から読書感想文を募集し、小学校1～3年生用、小学校4～6年生用、中学生用の文集「けやき」を発行します。	区立小・中学校全校から読書感想文を募集し、小・中学校合本で『令和4年度小学校・中学校読書感想文集「けやき」第38集』を発行した。区立学校全校の学校図書館に配架した他、区立図書館・児童館・子ども総合センター及び子ども家庭支援センターに配布した。
教育支援課			評価 各学校で、読書指導において活用するとともに、学校図書館の蔵書として、本との出会いのきっかけとなった。
			課題 読書指導での効果的な活用と各校での保管状況を検討して、発行部数を設定していく必要がある。
46	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
読書感想文集「けやき」の表彰	読書感想文集「けやき」の全作品の中から、小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校低学年、小学校高学年、中学校からそれぞれ1作品を「区長賞」として表彰しています。 また、各学年から1～2作品を「優秀賞」として表彰します。	小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校からそれぞれ1作品を「区長賞」として表彰します。 また、各学年から1～2作品を「優秀賞」として表彰します。	小学校低学年・小学校中学年・小学校高学年・中学校からそれぞれ1作品を「区長賞」として表彰した。また、小学校低学年・小学校中学年・小学校高学年各3作品と、中学校2作品を「優秀賞」として表彰した。
教育支援課			評価 表彰式を設定することにより、「区長賞」を受賞した児童・生徒および学校にとって、大きな励みとなった。
			課題 児童・生徒の負担軽減のため、短時間での表彰式を継続していく必要がある。

47	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
朝読書の推進 教育支援課	区立図書館等と連携し、団体貸出しや朝読書セットを活用することで、各区立学校における朝読書内容の充実を図ります。	全小・中学校で朝読書を継続し読書習慣の定着を図ります。 また、学校図書館研修会や担当教員連絡会を活用し、朝読書等における指導の充実を図ります。	学校図書館担当者連絡会で区立図書館との連携について周知し、団体貸出しや朝読書セットを活用した朝読書を推進した。
			評価 朝読書の時間を通じて、読書に親しむとともに、学校図書館の利用促進につながった。
			課題 朝礼や朝学習など、他の取組と調整を行い、各学校において、朝読書の時間を確保していく必要がある。
48	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
中・高校生等向け読書環境の充実 中央図書館	中・高校生等の読みたい本や必要とする蔵書の充実を図ります。 また、学校司書等との意見交換や中・高校生等向けのイベント参加者のアンケートなどを通じてニーズを把握し、中・高校生等向け読書環境の充実に取り組みます。	学校やイベント参加者の声等を参考に、中・高校生等が読みたい本や必要とする本を取り揃え、中・高校生等の区立図書館利用につなげていきます。	中町図書館では、近隣の中学校2校と連携して書評を募集し、「中学生と先生のオススの本Vol.8」を発行した。職場体験の生徒にも読んでいるジャンルや希望する本を聞いて、中・高校生等に向けた資料の選定に活かしている。
			評価 「中学生と先生のオススの本Vol.8」は中学生の読書傾向や読書レベルを確認するバロメーターになっている。様々な機会をとらえて選書の参考にするためにも有効な取り組みと評価できる。 中学校1校、高校2校との協働で展示を開催した。本の紹介のポップを提供してもらい、その本をできるだけ展示貸出した。中・高校生等に向けた資料の選定に活かすことができ評価できる。
			課題 中・高校生は小学生よりも行動範囲が活動も大きく変化するため、来館者の少ない世代であり、魅力あるイベントや読みたい本があることを伝えれば、それに伴い来館者数も増加すると考える。区のTwitterも開始したため、インターネットツールの活用と電子書籍の活用をさらに検討する必要がある。

49	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
中・高校生等向け読書イベントの実施と学校等との連携〔新規〕	中・高校生等への読書支援を学校と連携しながら検討していきます。区立図書館では様々な本や雑誌、視聴覚資料等を取り揃え、気軽に利用できる魅力を知ってもらい、来館のきっかけとするために中・高校生等向け読書イベントを実施します。	学校やイベント参加者の声等を参考に、中学校や高校と連携して、中・高校生等向け読書イベントを実施し、区立図書館利用につなげていきます。	鶴巻図書館では「第3回つるまき本の帯デザイン賞」を開催した。 これをきっかけに、学校で行われたビブリオバトル大会に、ビブリオバトルの説明と補佐役として参加した。
			評価
			出張授業や学校訪問・職業講話の際にイベントについて話をしたり、学校でのビブリオバトルに参加することにより、図書館を身近に感じてもらい、来館の機会に繋がられた。
中央図書館			課題 学校に連携の企画を持ち込んだり、訪問する機会を増やす必要がある。また、これらを活かし、中・高校生から読書情報を集め、その世代に向けた資料の選定に役立てていく必要がある。
50	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
中・高校生等の図書館サポーター活動の実施	中・高校生等が図書館サポーターとして携わるお話し会の実施や中・高校生等向け図書コーナーの整備、読書イベントの企画などを行います。	中・高校生等が主体的に図書館運営に携わる工夫をすることで、区立図書館に興味を持ってもらえるようにします。	令和5年度3月までに中・高校生のサポーターを3名受け入れた。また、夏休みの期間には新宿区社会福祉協議会を通じ、8名の中・高校生ボランティアを受け入れた。学生側の希望で配架・書架整理を行ってもらった。夏休みのボランティア参加者から図書館サポーターの登録に至った学生もいた。職場体験の際にも積極的に図書館サポーターの活動を周知した。
			評価
			中・高校生の図書館サポーターの活動が安定して行われている。 職員側が受け入れ態勢を整え気軽に質問できるよう配慮した。
中央図書館			課題 活動の周知に努めるとともに、社会福祉協議会と協力し、受け入れ態勢を整える必要がある。 また、卒業等で活動を終了する学生にも今後の図書館の活動に興味を持ち、継続的な来館に繋がられるよう工夫が必要がある。

51	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
障害等に応じた読書支援の推進	子どもの個々の障害の状況に応じて、布絵本やマルチメディアデージー、点字絵本等の資料・機器の活用や読み聞かせの工夫を行い、読書に親しめるようにします。	視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（令和元年法律第49号）の趣旨を踏まえて、障害等のある子どもの読書支援を区立図書館と学校、関係機関等とが連携を図りながら、推進します。	3月にマルチメディアデージー図書のおはなし会とリーディングトラック作りを実施した。また、都立戸山高校と戸山図書館が連携してマルチメディアデージー図書の制作も行った。カウンター前ではマルチメディアデージー図書周知のため、マルチメディアデージーを再生できるアプリ「ボイスオブデージー」の入ったタブレットを資料と併せて常設で展示している。 図書選書の中で点字絵本や点字資料の収集を行った。	
			評価	常設展示やイベントを通して、マルチメディアデージー図書の周知を進めることができた。マルチメディアデージーのおはなし会は工作要素を合わせたことで、関心を広げることができた。 対象の利用者は少ないが、家庭配本については、子ども2名の年間を通じた定期的な利用がある。ニーズと成長をとらえて、利用者の要望にきめ細やかに対応している。
			課題	マルチメディアデージー図書は、活字による読書が困難な方に向けて開発されたが、当事者や支援者への周知が十分でないことが課題である。今後もイベントや展示等の図書館活動を通して困難の有無に関わらず周知に努めていく必要がある。 新宿養護学校と連携し、障害等のある子どもに対して読書支援の拡大を図る。マルチメディアデージーや拡大読書器の活用・普及に努める必要がある。
中央図書館 学校等				
52	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
病院配本サービスの推進	区内の病院に入院している子どもたちへの配本サービスの充実を図ります。	病院との連携を深め、入院中の子どもたちが読書に親しむ機会を充実します。	こども図書館では新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、令和3年度と同様に、区内の3院、5か所へ配本をおこなった。実施した病院は①～③のとおり。 ①国立国際医療センター病院 ②東京女子医科大学病院（院内3か所） ③東京医科大学病院	
			評価	病院と連携して、子どもたちが読書に親しむ機会を適切に作ったと評価する。
			課題	今後も病院配本が継続できるように、感染症などの対策を徹底したうえで、病院と連絡・調整を慎重に行っていく必要がある。
中央図書館				

53	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
外国語と多文化に親しむお話し会と外国語図書の充実	<p>外国語を母語とする子どもに、日本語と母語に親しむことができるよう、外国語絵本の収集・提供や学校等と連携して日本語と外国語の読み聞かせ等を工夫しています。</p> <p>また、外国語の絵本や、様々な国や民族の文化を知る図書の紹介・展示を実施します。</p>	<p>外国語を母語とする子どもが読書に親しむ機会の充実を図るとともに、自国の文化を始め、様々な国や民族の文化への相互理解が深まるよう、学校等と連携して事業を推進します。</p>	<p>中町図書館では、英語絵本のお話し会を偶数月（6回）に、フランス語のお話し会を年間で2回実施した。フランス語のお話し会は近隣の東京日仏学院（旧アンスティチュ・フランセ東京）との連携事業。</p> <p>大久保図書館では、毎月のお話し会において英語、中国語、韓国語のほか、タガログ語、アムハラ語、アラビア語、ペルシア語、スウェーデン語、スペイン語、トルコ語、チェコ語等の読み聞かせを、協力団体などと連携して多様な言語で実施した。</p> <p>また、外国語絵本ではネパール語60冊、スペイン語1冊、アラビア語3冊の蔵書64冊が増えたほか、ヒンディー語の絵本も新たに所蔵した。</p>
			<p>評価</p> <p>英語も、フランス語も利用者に好評なお話し会である。フランス語のお話し会は、大人の参加も多い。</p> <p>多文化に触れるお話し会は例年、非常に好評である。出張お話し会では外国にルーツのある子どもに対して日本語と英語の並列表記の絵本を持参したところ、普段よりも集中し、お話し会への参加も積極的であった。</p>
			<p>課題</p> <p>言語によっては大人も参加したいという事前申し込みも多く、児童より大人のほうが多くなってしまいう月もあった。大人向け多言語おはなし会も需要があることをふまえて、児童が参加するおはなし会とは分けて開催していくことを検討して行く。</p> <p>出張お話し会においては、今後も保育者との連携を密にしながら活動していく必要がある。</p>
中央図書館 学校等			
54	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
学校での研修充実と指導資料の作成	<p>区立小・中・特別支援学校の教員及び図書館スタッフ等を対象に、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての学校図書館活用に関する研修を行うとともに、学校図書館を効果的に活用するための資料を作成します。</p>	<p>区立小・中・特別支援学校の教員及び図書館スタッフ等を対象として、学校図書館教育の充実を図るための研修を年1回実施します。</p> <p>また、学校図書館を効果的に活用するための資料を研修会などで活用していきます。</p>	<p>区立小・中・特別支援学校の教員を対象として、学校図書館教育の充実を図るための研修会を年1回実施した。また、学校図書館教育推進委員会リーフレット「しんじゅくの学校図書館」を作成し、各学校図書館内外での掲示・展示の工夫と、図書館支援員との協力や地域図書館との効果的な連携事例を紹介した。</p>
			<p>評価</p> <p>子どもたちの読書習慣を形成する「読書センター」としての学校図書館活用に向けた各学校の取組や工夫が共有された。</p>
			<p>課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症の広がりにより、図書館スタッフ等の研修機会が限られた。また、地域図書館との連携についても引き続き推進していく必要がある。</p>
教育支援課			

55	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
図書館での研修充実 中央図書館	子どもの読書活動に関わる人材を育成するために、図書館職員を外部の研修に積極的に参加させるなど、各種情報の収集、技術の研鑽に努めます。	館内外で研修を実施し、図書館職員の知識の蓄積、技術向上を図ります。	人形劇団による「保育教材実践講座」や「児童書選書」に関する研修など、子どもの読書活動に関れる幅広い研修を受講した。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 研修を行ったことにより、職員による苦手意識は無くなり、職員全員のボトムアップにつながった。 オンライン講座については受講後、研修報告等を回覧し内容をフィードバックした。
			<p style="text-align: center;">課題</p> 継続的に、内部研修と外部研修に参加できる制度が必要づくりが必要であり、技術や知識を備蓄できるよう努めていく必要がある。 また、職務上の知識の習得に資する研修を組み立てて受講させる必要がある。
56	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
国立国会図書館、国際子ども図書館との連携 中央図書館	国立国会図書館・国際子ども図書館や都立図書館と連携した職員研修や、施設見学などを通じて職員の研鑽に役立てます。	国立国会図書館等との連携を深め、子どもの読書活動に関する情報収集・発信と職員研修内容の充実を図ります。	国立国会図書館で公開された図書館職員研修（動画配信）を、積極的に利用し、職員の自己研鑽に役立てた。 国立国会図書館とIFLAが共催していたウェブ講演会「図書館とSDGs：IFLAの支援、図書館の取組」にウェビナーによるオンライン形式でスタッフ2名が参加した。また、国立国会図書館がyoutubeで公開している講座の動画を見ることで知識を深めた。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 国立国会図書館のオンライン研修や講習などによって、職員のスキルアップをはかることができた。また、これらの研修などの資料の供覧により全職員が知識を深める機会となった。
			<p style="text-align: center;">課題</p> 国立国会図書館の研修に参加するなど、オンライン講習・研修も含め情報収集や連携を深めていく必要がある。
57	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
図書館サポーターの育成充実 中央図書館	子どもたちへの読み聞かせの機会を充実するため、図書館サポーターの人材育成を図ります。	図書館サポーターとの意見交換会を開催し、相互の交流を図るとともに、直接、サポーターの意見や要望等を把握し、必要な講習会を開催します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、サポーターの活動自体はあったが、講習会は中止となった。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 新型コロナウイルス感染症の影響による中止はやむを得ない措置と評価する。
			<p style="text-align: center;">課題</p> 感染症などの影響を受けないオンライン対応などでの読み聞かせ講習会実施や、オンライン読み聞かせの開催も視野に入れて検討して行く必要がある。

58	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
団体貸出の充実 中央図書館	<p>子育て関係施設や10名以上のグループに図書の団体貸出を実施します。</p> <p>区立図書館窓口での団体貸出と、こども図書館の団体専門資料の貸出しが可能です。区内全域で区立図書館の幅広い図書を提供します。</p>	<p>子どもたちの身近な場所で区立図書館の本を利用しやすくし、地域で多くの本と出会えるように、これまで利用のない施設への団体貸出を拡充します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症のため利用が激減していたが、規制が緩和され、団体貸出・こども図書館の団体専門資料の貸出の利用ができる周知をする機会が増えると利用が激増した。</p>	
			<p>評価</p>	<p>団体貸出・こども図書館の団体専門資料の貸出の利用ができる周知をする機会が増えると利用が激増し貸出に努めた。</p>
			<p>課題</p>	<p>まだ団体貸出を利用していない子育て関連施設や、利用休止中の子育て施設に利用を促す必要がある。</p>
59	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
大学・専門学校等との連携 中央図書館	<p>学生に対する子どもの読書活動への協力やボランティア活動への参加促進を図るため、区内の大学・各種学校との連携を図ります。</p>	<p>区内の大学や専門学校等と連携し、学生による読み聞かせやイベント等、ボランティア活動への参加促進を図ります。</p>	<p>中町図書館では、東京理科大学大学院と連携し「算数わくわくランド」という講座を年2回実施した。算数を使ったゲームなど、楽しみながら学べる内容。開催に合わせて講座内容に関連した本の展示も行った。</p> <p>毎週土曜日に早稲田大学児童文学研究会の方々をお願いしていたお話し会が11月より再開し、年度末までに13回実施した。</p>	
			<p>評価</p>	<p>東京理科大の大学院生が講師となり、参加した子どもは毎回興味津々で楽しんでいる様子が伺える。保護者からも質問が来ることがある。講座内容に関連した本を展示した。どちらも好評であった。</p>
			<p>課題</p>	<p>区立図書館が学校に対して、積極的に連携を図る必要がある。</p>

60	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
新宿区子ども読書活動推進会議の運営	有識者やPTA代表者、読み聞かせ団体、区担当者を構成員とする「新宿区子ども読書活動推進会議（平成16年度設置）」を開催し、第五次推進計画の検証や意見聴取を行い、事業への反映を図ります。	定期的に推進会議を開催し、取組の検証と意見の計画反映を図り、効果的に事業を推進します。	「令和4年度 新宿区子ども読書活動推進会議委員」の内、民間委員の改選の年にあたり6名の委員に委嘱した。令和4年度は、新宿区子ども読書活動推進会議（以下「推進会議」という。）を3回開催し、委員と意見交換を行った。
			<p style="text-align: center;">評価</p> 推進計画（担当事項）「第2条 推進会議は、子ども読書活動の推進に関する次の事項を協議する」 （1）推進計画の策定及び新着状況に関すること。 （2）推進計画の普及・啓発に関すること。 （3）絵本でふれあう子育て支援事業の絵本の選定に関すること。 （4）関係機関等の連携・協力に関すること。 （5）その他 に関する協議ができた。
中央図書館			会議で議論された不読率の低減などの施策を、事業に反映していく必要がある。
61	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
ホームページの充実による情報収集・発信	ホームページ上で区立図書館おすすめの本等を紹介し、子どもが本と出会う機会を設けます。 また、読書活動や関連イベント等に関する情報を分かりやすく収集・発信して、計画の推進と普及に役立っています。	定期的に子どもの本の紹介特集を行うとともに、国や関係機関のホームページとのリンク等を図ります。	図書館ホームページ内のこどもページ、中・高校生向けのコーナーにおいて、おすすめ本の紹介特集を定期的に行うとともに、展示やイベント情報を掲載し周知を行った。
			<p style="text-align: center;">評価</p> おすすめ本の紹介などを定期的に行うことができた。 国や関連機関のホームページとのリンク先のアドレスが変更された時などの早期発見に努め、適切に更新する必要がある。 また、読書活動や関連イベント等に関する情報をわかりやすく収集・発信して行く必要がある。
中央図書館			<p style="text-align: center;">課題</p> 図書館ホームページの情報発信により、図書の利用・登録に繋げる必要がある。

62	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
『しんじゅくの教育』の掲載	子どもの読書活動の趣旨普及や区立図書館や学校図書館の取組の効果的な情報提供を目的に、教育広報紙『しんじゅくの教育』に掲載します。	イベントの告知や子どもの発達段階に応じた本の紹介、学校図書館の活動状況等、子どもの読書活動に関する記事を掲載し、広く情報提供を行います。	年4回発行される教育広報紙『しんじゅくの教育』に、子どもの読書活動に関する特集記事や図書館のお知らせを掲載した。 【内容】 「夏休みは図書館へ行こう」 「読書の季節 おすすめの本のご紹介！（ブックリスト『クローバー』）」 「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」 「中央図書館が開館50周年を迎えました」 など	
			評価	定期的なイベント告知だけでなく、周年記念イベント紹介といった時宜に合った記事を掲載することで、図書館の取組を継続的に周知することができた。
			課題	新型コロナウイルス感染症の流行等により、イベントが減った場合に子どもの読書活動に関する周知をどのように図っていくかの検討が必要である。
			中央図書館 教育調整課 教育支援課	
63	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績	
子ども読書活動推進計画の趣旨普及	広報紙・ホームページ等を活用して子どもの読書活動推進計画の趣旨普及に努めます。	区や関係機関の広報紙の活用や、ホームページの相互リンク等を図り、情報発信を行います。 また、次期の計画策定に向けてアンケート等を行い、効果的な実施方法を検討し、事業への反映を図ります。	図書館ホームページやイベントの場において、子どもの読書活動の意義や関連事業について周知を図った。 また、次期の計画策定に向けたアンケートの内容を検討した。	
			評価	子ども読書活動推進計画の意義や関連事業について普及を進めることができた。 また、次期の計画策定に向けたアンケートの実施に係る準備を進めることができた。
			課題	今後も、ホームページや広報、イベントなどを通じて、子ども読書活動推進計画の趣旨について周知していく必要がある。 また、次期の計画策定に向けたアンケートについて、結果の分析精度が高くなるような設問を検討する必要がある。
			推進計画全所管課	

64	計画事業内容	期間中の目標	令和4年度実績
『子ども読書の日』の趣旨普及	4月23日の『子ども読書の日』と4月23日～5月12日の『こどもの読書週間』を子どもの読書活動の趣旨普及に努める機会とします。	読書や図書館に興味を持てるイベントや情報発信を行い、『子ども読書の日』や『こどもの読書週間』の趣旨普及に努めます。	各図書館において、読書や図書館に興味を持てるイベントや『子ども読書の日』や『こどもの読書週間』普及啓発ポスターを掲示した。また、児童関連施設に普及啓発ポスターの掲示を依頼した。
			評価
			西落合図書館では『こども読書週間』期間中に行った展示は、展示冊数220冊、貸出冊数361冊であり、本を積極的に貸し出すことができたと評価する。
推進計画全所管課			<p style="text-align: center;">課題</p> 『子ども読書の日』や『こどもの読書週間』普及啓発ポスター作製展示の開催を、これらの期間前に展示図書ともに開催する必要がある。